

学会賞・表彰式 参加のお誘い！ (12月14日土曜)

日本アートマネジメント学会 総務委員会

日本アートマネジメント学会第4回学会賞に、沖縄県宜野座（ぎのざ）村の村立文化ホール「がらまんホール」および同村文化のまちづくり事業実行委員会が選出されました。

11月1日に学会ホームページにて公表され、表彰式は12月14日（土曜）の第26回全国大会（札幌市教育文化会館）にて行われます。これまでの受賞者は大学、県、市などでございましたが、今回、初めて、「町村」の「公立文化施設」が選ばれました。

宜野座村は、沖縄島の東海岸に位置し、ヤンバル（同島北部）にある、人口6000人余りの小さな自治体。村域の50.7%を、米軍基地が占めています。

「芸能の村」として知られており、琉球舞踊、エイサー、獅子舞などの伝統芸能が盛んで、旧暦の8月15日ごろに行われる豊年祭には多彩な芸能が披露されています。

学会賞を受賞したのは、同ホールと同委員会が製作したドキュメンタリー映画『ウムイ～芸能の村～』（ダニエル・ロペス監督）（東京ドキュメンタリー映画祭・民俗部門グランプリ受賞）が、2023年度にフランス・ドイツ・オランダ・スイス・エストニア・カンボジアと東京・大阪など国内各地をめぐる上映、および演舞の取り組みです。なかでも映画上映と伝統芸能の演舞披露がセットになった試みが高く評価されました。

表彰式は、2024年12月14日（土曜）午後3時すぎから30分間、札幌市教育文化会館4階の講堂にて、行われます。

宜野座村から、宜野座村観光商工課長、同委員会の仲栄真三七十委員長（宜野座村漁港組合長）、がらまんホールの小越友也プロデューサー、ダニエル・ロペス監督の4人が出席していただきます。ドキュメンタリー映画の一部も上映される予定。さらにドキュメンタリー映画に出演された琉球舞踊の宮城小寿江さん（師範）と仲地彩葉さん（名桜大学生）の2人が駆け付けてくださり、琉球舞踊を披露されます。2人は、独・フランクフルトで行われた映画祭の会場に出向き、実演されました。遠路はるばるお越しくくださる一行に対して、盛大にお祝い申し上げたいと思います。

